

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立みはら歴史博物館	
(2) 施設の設置目的	
美原区の区域における歴史、風土等に関する資料を収集し、保管し、展示して市民の利用に供し、その教養の向上と文化の発展に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 博物館 学芸課	
(4) 指定管理者名	
アクティオ株式会社	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">施設の運営に関する業務施設等の維持管理に関する業務学芸に関する補助業務歴史・文化事業の実施	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	利用者目線に立った丁寧な接遇を心掛けている。また、施設内における利用者への安全確保も適切で、改善すべき点があれば、すみやかに対応している。また、個人情報の取扱いも適切に行っている。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	常に適切な職員配置ができています。人材育成の観点から、定期的な職場研修を実施するなど、職員一人ひとりの資質向上に努めている。また、施設内機器の状況把握もなされており、改善すべき点があれば、必要に応じ本市と相談しながら対応している。
施設の設置目的に沿った事業の実施	新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設の休館や、休館期間以外の期間においても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、仕様書で定める一部の事業が実施できなかったものの、代替事業を実施することにより、施設の設置目的に沿った事業を実施した。
その他特筆すべき取組	利用者からの指定管理者に対する本市へのクレームの実績がないことから、利用者への接遇や施設内機器の維持管理、日々の業務の改善等が的確に行われているものと考えます。

イ 市による状況分析

指定管理者は、接遇、付帯設備、事業等で課題等があれば、すみやかに現状分析を行い改善すべき点があれば市に報告し情報共有のうえ対応している。日々の地道な改善への取組が適切な管理運営の確保につながっていると考える。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名				アクティオ株式会社	アクティオ株式会社
利用者数(単位:人)				26,497	—
稼働率(単位:%)				9.0	—
利用者満足度(単位:%)				84.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	利用者目線に立って、改善や創意工夫が必要なものについては主体的に実施している。また、イベント情報の周知等、積極的に広報している。
意見・苦情・要望等への対応	常時、利用者アンケートを募っており、利用者からの改善要望等があれば、実施可能なものについては迅速かつ適切に実施している。
その他特筆すべき取組	利用者から本市に対してクレーム等を受けることは一切ないことから、適切な施設運営がなされているものと考えます。

ウ 市による状況分析

指定管理者は、アンケート結果や利用者との直接の対話を通じて、利用者ニーズを把握し、どのように対応すれば利用者満足度の向上につながるのかを調査研究している。また、当課へのクレームが一切ないという状況から判断すると、利用者に対し良質なサービスが提供されているものと考えます。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
指定管理者名					アクティオ株式会社	アクティオ株式会社
収入	指定管理料				40,870,046	40,469,000
	利用料金				859,165	1,300,000
	負担金				0	0
	その他				11,295	0
合 計					41,740,506	41,769,000
支出	人件費				16,575,420	17,169,000
	委託料				7,006,509	8,689,000
	総支出額に占める 委託料の割合				18.4%	20.8%
	修繕費				921,250	700,000
	光熱水費				3,216,494	5,362,000
	その他				10,350,369	9,849,000
合 計					38,070,042	41,769,000
収支差額					3,670,464	0
(市への納付金の額)					0	0
(徴収委託の場合の徴収額)					-	-

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収入				29,920	129,000
支出				23,936	120,110
収支差額				5,984	8,890
(市への納付金の額)				0	0

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	電気事業者を変更することにより、光熱水費の支出を抑制した。
------------	-------------------------------

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市からの施設の休館や休館期間以外の期間における事業抑制の指示により、利用者数が減少し、利用料金収入の減となった。一方で、電気事業者の変更による光熱水費の支出を抑えることにより、収支が黒字となった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
展示室観覧者数	年間5千人以上	2,664人
ホール稼働率	年間25%以上 年間8千人以上	9% 5,534人
ギャラリースペース観覧者数	年間2万2千人以上	18,299人

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
歴史・文化事業実施回数	年間32回以上	27回

■ 収支

指標	目標	実績
利用料収入	年間1,100千円以上	859,165円

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言期間に休業した影響により、事業実施回数等は目標の達成には至らなかったが、来館者数に関しては令和元年度の直営時代に迫る数値となっている。厳しい状況の中、ギャラリースペースを活用した地域密着型のサービス等が集客増に寄与しているものとする。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	新型コロナウイルス感染拡大により、事業活動が大きく制限され、当初計画していた事業実施が困難となり、目標の全項目において、達成に至りませんでした。 緊急事態宣言の解除後は、代替の事業を設定するなど積極的に事業を実施し、目標に近づけることに注力し、地域の特性に合致した事業実施に道筋をつけることができました。	利用者数、利用料金収入、事業実施回数の目標はいずれも未達となったが、新型コロナウイルス感染拡大防止により事業の実施が制限されるなかで、適切な施設運営を行った。 また、電気事業者の変更など経費削減意識をもって業務に取り組んでおり、光熱水費の支出を大幅に削減できた。
今後の取組	新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めつつ、より魅力的な事業を企画・実施してまいります。また、感染拡大時にはリモートでの観覧、事業開催を視野に、環境整備やコンテンツの充実を図ってまいります。	今後も利用者が安全に施設を利用できるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止のための安全対策を施しながら、利用者の獲得や利用者の満足度向上につながる事業の実施を期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの